



平成 2 8 年 3 月

第 6 1 号

荒川区立南千住第二中学校

(題字;校長 齊藤 進)

ナンちゃん・ニーくん



卒業生へ ～ プラス思考で生き抜こう ～

校長 齊藤 進



卒業おめでとうございます。

皆さんは、人生は運命だと思いますか、それとも選択だと思いますか。つまり、自分が生まれたことも育った環境もあらかじめ決められて、その後身の周りに起きる出来事もすべて運命であると考えるか、それとも、家を選んで生まれたわけではないが、人生は自分の意思でひとつひとつのことを決めていく、すなわち人生は選択であるか、という問いです。さて、どちらを選びますか。この問いに正解はありません。しかし、実際の生活では、今日着ていく洋服は何にしようか、何を食べようか、高校はどこを受けようか、などひとつひとつ自分の意思で決めているのです。運命だと思うと、こうなったのは運命だから仕方がない、などとあきらめたり、投げやりになったりとなかなかプラス思考で考えることができません。ぜひ、人生は選択であると思い、自らの道を切り拓いていきましょう。

最後に、つぎの言葉を贈ります。「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」を選択してください。もちろん、はじめからやらないほうを選択したら、やらなくて結構です。もし、迷ったら《やる》を選択してください。結果はどうあれ自分の意思で決めたことで自信が身につく、人生を前向きに捉えようとプラス思考で生きることができるからです。もう一度言います。「やるべきかやらざるべきか、迷ったら《やる》」。プラス思考で生き抜こう！

最後に私のお気に入りの歌をプレゼントして締めくくります。

AKB48「365日の紙飛行機」

朝の空を見上げて 今日という一日が 笑顔でいられるように そっとお願いした
時には雨も降って 涙も溢れるけど 思い通りにならない日は 明日頑張ろう
ずっと見てる夢は 私がもう一人いて やりたいこと 好きなように 自由にできる夢
人生は紙飛行機 願いを乗せて飛んでいくよ 風の中を力の限り ただ進むだけ その距離を
競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番 大切なんだ

さあ 心のままに 365 日

星はいくつも見えるか 何も見えない夜か 元気が出ない そんな時は 誰かと話そう
人は思うよりも 一人ぼっちじゃないんだ すぐそばのやさしさに 気づかずにいるだけ
人生は紙飛行機 愛を乗せて飛んでいるよ 自信持って広げる羽根を みんなが見上げる
折り方を知らなくても いつのまにか飛ばせるようになる

それが希望 推進力だ ああ 楽しくやろう 365 日

飛んでいけ！ 飛んでみよう！



地域清掃

3月5日(土)、土曜授業公開日の3、4校時に、今年度2回目の地域清掃を行いました。2時間目の授業後、全校生徒が校庭に集まり、出発式を行いました。今回もJRC委員が中心となり、前日から準備してきました。また、今回は出発式の司会、あいさつや注意事項なども全て委員会の生徒が行いました。出発式後、保護者の方も参加して清掃活動に出発しました。300余名の全校生徒が鉄ばさみとゴミを入れるレジ袋を手に、一斉に南千住の町に繰り出しました。普段からきれいな街ですが、道路脇の植え込みの中など、見えづらいところにゴミがありました。また、やはりタバコの吸い殻は道のそこここにある。南千住二中の生徒は文句一つ言わず、むしろ楽しそうに地域の美化活動に励みました。活動中には地域の方や街を歩いている方から、「ごくろうさま」「どちらの学校ですか？素晴らしいですね」「ずいぶんきれいになったね」などとお声をかけていただく場面もありました。

全校生徒が校庭に戻ってくると、JRC委員が用意していたポリバケツなどはあっという間にあふれるほどになりました。そして一人一人の心にも街をきれいにした充実感があふれました。教室に戻ると各班で地域清掃の感想や反省が話し合われました。「しっかりできた」「協力して街をきれいにした」という反省に加え、「地域に貢献できた」「自分たちも街をきれいに保ちたい」という気持ちも表されました。

ご参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



ゴミ拾いも楽しく



植え込みの中も



ゴミ回収の準備 JRC委員

新スポーツ!? 「スポーツGOMI拾い」

たぐれとST/ミヤコ



地域清掃の翌日、3月6日(日)には「ゴミ拾いはスポーツだ」と題された「スポーツGOMI拾い」が荒川区環境課が主催となり荒川スポーツセンター周辺で行なわれました。この「スポーツGOMI拾い」は全国的な広がりを見せている取り組みで、ゴミ拾いをスポーツとして取り組み、汗を流しながら楽しく行なおうとするものです。今年度、南千住二中からも1チームが参加しました。2年2組女子の3選手(?)です。

黄色のゼッケン、大きなゴミ袋を持って競技開始。決められた時間いっぱいまでゴミを拾い、無事終了。残念ながら入賞とはなりませんでしたが、心地よい汗を流しました。



3人の参加選手

レスキュー部の活動充実

あらBOSA I

3月5日(土)の午後には、スーパーレスキュー部員を中心に7人が「あらBOSA I ~あら坊祭~」に参加しました。聞き慣れない言葉ですが、防災に関する活動を競技などとして楽しみ、防災意識を高めようというものです。荒川区役所防災課をはじめ、消防署や警察、自衛隊も参加しての大々的な催しとなりました。

競技(!?)は、的を狙った消火器やポンプの放水、AEDの操作、心肺蘇生法などなど、多岐にわたりました。真剣に取り組む姿はさすがレスキュー部員。AEDや心肺蘇生法などは小学生に方法を教える役も行いました。防災意識を高める有意義な機会となりました。

《防災運動会参加者》

- 3年1組男子1名、女子1名、
- 2年2組女子1名、
- 1年2組男子1名、1年3組男子2名、1年4組男子1名

前号で紹介した「ジュニア防災検定」の合格者の中から事後課題が特に優秀であると認められ、2年1組女子、2年2組女子の2名に**ジュニア防災検定事後課題優秀賞**、加えて2年2組女子には**ジュニア防災検定上級優秀賞**という特別賞が防災検定協会から贈られましたので紹介いたします。

このようなさまざまな活動を通し、レスキュー部、南千住二中生の防災意識がますます高まってきています。東日本大震災から5年を迎えた3月11日、1年2組女子が担任との「やりとり帳」(日常の連絡帳)に記した文章を紹介します。この生徒は3月9日にテレビ東京の「スケッチ」という番組で紹介された中の1人です。

3/11 担任との「やりとり帳」より

1年2組女子

今日、東日本大震災から5年がたちます。小学校で下校中、地震がきました。先生は、みんなを安全に避難させるために、机の下に隠れさせてくださいました。先生は、みんなを安全に避難させるために、机の下に隠れさせてくださいました。



的をめがけて放水



AEDの使い方を教える

卒業期の行事が続きました

ようこそ青年海外協力隊



現地の民族衣装をまといあいさつの体験

3月3日(木)の5・6校時には、「ようこそ青年海外協力隊」が行われました。この会は、青年海外協力隊員として実際に国際社会で活躍・貢献した方をお招きしてお話を聞き、国際交流や異文化理解、国際協力について考え、理解しようとするものです。この日はブータンでカメラマン・体育教師として活動した方、チュニジアの聾学校で美術教師として活動、また障がい者福祉活動に携わった方、南米・ガーナの職業訓練校で手工芸を指導した方の3人の方にご来校いただきました。

3人とも青年海外協力隊(JICA)の一員として、自身のもつ専門知識を駆使し、発展途上の国々で国際貢献をしてきました。その経験を紹介してくださいました。どの方のお話も実体験に基づくもので臨場感もあり、日本との違いに驚いたり、異文化を理解することの重要性に気づかせてくださいました。会の最後には、全体会で3年2組男子が代表してお礼の言葉を述べました。

日本も戦後復興期には国際協力を受けていたことがあります。経済発展を遂げた今、日本の国際社会に果たす役割は大きいといえます。改めて、私たちに国際理解や異文化の理解そして今後の国際協力のあり方を考えさせてくれました。



体験談を語る講師の先生方



性教育講演会

3月7日(月)5・6校時には、「性教育講演会」

が行われました。2年生の時には性教育講演会で、生命誕生の尊さや赤ちゃんへの接し方などを中心に学習しました。今回は、現代の若者に広まる性感染症から自分を守る具体的なお話が中心でした。この日講師を務めてくださったのは、テレビやラジオにも多く出演している、ヘルスプロモーション推進センターの医師 岩室 紳也先生でした。

先生は、エイズ患者などの治療に携わる方です。若者に広がる文化を理解し、様々な場面での性感染症予防について具体的にお話をしてくださいました。普段なかなか正しい知識を知ることがむずかしい内容でもあり、また、大人の世界に入っていくと避けて通ることができない「性」の問題について正しい知識を学び、真剣に考える機会を与えてくださいました。

岩室先生ありがとうございました。

熱心にお話しいただいた岩室先生



卒業遠足 東京ディズニーランド

3月10日(木)には3年生の校外学習、東京ディズニーランドへの卒業遠足でした。この日は都内、首都圏の中学校の卒業遠足がとて多い時期で、ディズニーランドは大混雑。それでも賢く園内を回り、たくさんのアトラクションに乗れたようです。大混雑の中でしたが、たくさんの思い出ができ、友情を深められました。

今回の遠足は、クラスを越えて2～6人のグループを作り、出発から帰宅まで、1日をそのグループで行動しました。朝の出発に遅れるグループもなく、また、帰りのチェックにも遅れることもなく、大変立派でした。

たくさんのお土産を手に、そして、たくさんの思い出を胸に、満面の笑顔で帰宅の途につきました。



三年生を送る会

3月14日(月)、生徒会朝礼の時間に1・2年生の生徒会本部と中央委員会(各専門委員長、各クラス学級委員で組織)が企画・運営する「三年生を送る会」が開かれました。在校生から卒業生への感謝の気持ちを表し、お別れをする会です。

会の進行は生徒会本部が務め、はじめに1・2年生を代表して生徒会長(2-2 男子)から3年生へ感謝の言葉が送られました。つづいての「思い出ベスト3」と題された寸劇には、中央委員会のメンバーと中央委員会が依頼した2年生数人が登場しました。3年生からアンケートをとり、運動会、霜月祭、修学旅行のエピソードなどが楽しく演じられました。そして1,2年生全員によるレミオロメンの「3月9日」の合唱、さらに1,2年生一人一人の感謝の言葉を記したメッセージボードがプレゼントされました。

3年生からは、学年委員長(3-3 女子)からお礼の言葉が述べられ、EXILEの曲「道」が素敵な合唱として1,2年生に送られました。

1,2年生が、そして3年生が自分たちの手で作り上げた、たいへん心がこもった会になりました。3月18日(金)には卒業式を迎えます。

卒業式も全校で心を1つにして素晴らしいものになることが期待されます。



寸劇「運動会」



メッセージボード



3年生の素晴らしい合唱

南千住二中レスキュー部がまたまた快挙!

防災まちづくり大賞 「日本防火・防災協会長賞」を受賞

南千住二中レスキュー部がまたまた大変大きな賞を受賞しました。今度は国レベルの大きな賞です。国の総務省、消防庁、防火・防災協会が主催する「第20回 防災まちづくり大賞」の総務大臣賞、消防庁長官賞につづく上位3番目の賞にあたる「日本防火・防災協会長賞」です。受賞団体は全国の各地域の町会や防災団体が多く、中学校の受賞は珍しく名誉なことです。レスキュー部の活動が認められたのはもちろん、南千住二中生の防災意識が高く評価されたものとして、大変誇りに感じます。

3月4日(金)には授賞式が行なわれ、南千住二中を代表して齊藤校長先生が出席し、立派な賞状・楯をいただきました。また、3月17日(木)には、この受賞をうけて、齊藤校長先生が、東京消防庁の消防総監を表敬訪問することに決まっています。



いただいた賞状

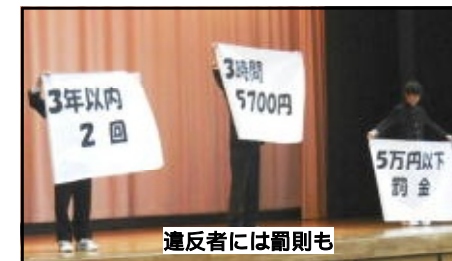
セーフティ教室

3月7日(月)の全校朝礼で、「セーフティ教室」が行なわれました。これまでも各学期1回、セーフティ教室を実施してきましたが、今回のテーマは「自転車の安全運転」です。

近年、中学生の自転車事故が多く報告されています。また、昨年6月には道路交通法も改正され、自転車の違反運転には厳しい罰則も科せられることになりました。これを機に自転車の安全運転に焦点を当てました。セーフティ教室の中では、霜月祭(本校文化祭)の地域学習劇でも登場した“神”のキャラクターが自転車に乗って登場。また、2年生の有志も手伝い、寸劇やクイズ形式で併走運転や傘さし運転などの禁止事項について楽しく学ぶことができました。また、劇中には“アンゼンマン”も初登場。アンゼンマンは南千住二中の生徒を守る正義の味方です。来年度も時々登場するとか...!? 安全学習もちょっと楽しみになります。自転車事故の被害者にも加害者にもならないよう、全校でしっかり学習しました。



アンゼンマンが神を止める?



違反者には罰則も

《セーフティ教室スタッフ》

2年1組男子4名

2年2組男子1名

2年3組男子1名

アンゼンマン 2年2組担任の先生

部活動等の活躍

文化面でも南千住二中生が多くの表彰を受けています。

《パソコン部》 第15回毎日パソコン入力コンクール冬季大会

第5部和文A高校生部門入賞

1年1組女子1名、1年3組女子1名

第5部和文A中学生部門入賞

2年2組女子2名、2年3組男子3名、女子1名、

1年1組男子1名、1年2組男子1名、

1年3組男子3名、1年4組男子1名

第2部ローマ字部門入賞

1年1組男子1名、1年3組女子2名

《社会科》 全国図書館を使った調べる学習コンクール

全国 佳作 2年1組女子1名、2年2組女子3名、

2年3組男子1名、女子1名

荒川区 教育委員長賞 2年2組女子1名

《国語科》 荒川小論文コンテスト

教育委員会賞 1年1組男子1名

奨励賞 2年3組女子1名 佳作 3年3組女子1名

《家庭科》 あらかわお弁当レシピコンテスト

努力賞 3年1組男子1名、3年2組男子1名、女子1名、2年3組女子1名

南千住マイスターのコーナー

明治初期、急速に近代化を進める日本。南千住地域は、その象徴ともいえる千住製紙所をはじめ、多くの近代工業の拠点として発展してきました。この工業を支えるためには当然電力が必要となります。電力をほとんど有しなかった江戸の時代からわずか数十年で大きな電力が必要となったのです。そこで近代的な工業が多くあるこの南千住にできたのが「東京電灯千住火力発電所」です。

日本初の電力会社「東京電灯」が1906（明治39）年に開業させました。原動機に蒸気タービンをを用いる現在の火力発電所の先駆けとなる発電所として名を残しています。出力4500kWで、当時としては大規模な火力発電所でした。この電力は周辺の工場に送られ、近代工業の発展に欠かせない電力となっていました。

やがて水力発電の台頭により、1917（大正6）年に閉鎖されますが、大出力の火力発電所が、隅田川対岸の千住桜木に建設されました。それがかの有名な「お化け煙突」の発電所です。4本の煙突が見る角度により、1本にも2本にも、3本、4本にも見えたという高い煙突です。お化け煙突のルーツは、千住火力発電所です。さらに、東京スカイツリーのデザインを監修した元東京芸術大学学長で現名誉教授の澄川喜一氏は、このお化け煙突をモチーフとして、見る角度によって輪郭線が変わって見えるスカイツリーをデザインしたといわれています。つまり、スカイツリーの原点も辿っていくとお化け煙突、そして東京電灯千住火力発電所ということになります。

さて、この東京電灯千住火力発電所は、現在南千住二中の校舎が建っている場所にありました。特徴的な2本の煙突とドーム型の屋根は、南千住二中の校舎上部のデザインに取り入れられていると思われます。つまり、南千住二中そのものが大切な史跡だといえます。まさに南千住二中が取り組む地域学習の原点も、またここにあるのです。

南千住の交通と産業 最終回

『東京電灯千住火力発電所』



東京電灯千住火力発電所

ご協力ありがとうございました

平成27年度学校関係者評価のまとめ

平成27年度 学校関係者評価における自己評価		荒川区立南千住第二中学校	
	設 問	肯定% (昨年度)	学校の自己評価(考察)
1	教育目標・方針 「教育目標・方針は具体的に共感できる」	約96% (96)	教育目標「たくましい人」が定着してきている。さらに具体的に意識し、実感できる教育活動を進めていきたい。
2	生徒の様子 「明るく楽しく生活している」	約97% (94)	落ち着いた雰囲気の中で、生徒が健全な学校生活を送っていることが高い評価を受けている。
3	基本的生活習慣 「生徒の服装・通学態度がきちんとしている」	約94% (92)	ほぼ目標を達成できているが、教職員は一層の向上が期待できると考えている。基本的生活習慣をより身につけさせるよう工夫したい。
4	生徒理解 「良さや努力が伝わりやすい」	約88% (82)	生徒を励まし支援していることが評価されている。しかし不十分と感じる生徒もいる。少数でも見逃さず、生徒理解に努めたい。
5	健康・安全・安心 「安全・安心な環境で生活できる」	約97% (95)	レスキュー部の活動や避難訓練・安全指導が定着し成果があがっている。生徒の意識も大変高い。さらなる向上を目指したい。
6	分かる授業 「楽しく分かりやすい授業が行われている」	約89% (82)	保護者の評価がやや低め(75%)で「わからない」もやや多い(16%)。授業のようすをより知ってもらうよう工夫していきたい。
7	個に応じた指導 「学習進度・理解度に応じた学習指導」	約88% (88)	習熟度別授業等、一定の成果をあげているが、指導方法の改善やクラス分けの工夫等をしてさらに効果的にしていく必要がある。
8	学習習慣 「自主学習・家庭学習・学習習慣が定着している」	約70% (72)	生徒の評価が低めである。自習教室や学習スペースの充実や家庭学習課題の明確化、学習支援など、家庭と協力し推進していく。
9	情報教育 「ICT機器利用・情報活用能力育成」	約94% (87)	各教科や地域学習など、タブレットPC、電子黒板等の有効な活用が定着してきている。さらに有効な活用方法を探していきたい。
10	学校図書館の活用 「読書・学習に役立つ学校図書館利用」	約72% (50)	昨年度より大きく上昇した。意識的な図書館活用が効果をあらわし始めている。さらに活用場面、活用方法を工夫していく。
11	人権教育 「自他を大切に思い、差別・人権意識を育む」	約93% (93)	生徒、教師ともに人権意識は高い。教師は定期的に研修も行っている。今後も教育活動全般において人権感覚を育てていく。
12	道徳教育 「生命・自然・社会・道徳性を育む」	約92% (77)	昨年度より大きく上昇した。道徳の時間のみでなく教育活動全体での道徳教育を一層進めていく。
13	教育相談 「教育相談窓口が充実している」	約88% (71)	個に応じた細やかな対応している。実感のない生徒もあると感じるが、表面に表われにくいいじめ等がないか、常に目を配るようにしたい。
14	人間関係づくり 「教師・生徒・保護者の関係が良好に保たれている」	約95% (96)	諸行事を通じ、充実した体験活動が定着してきている。今後も内容を工夫し、さらに高度なものを目指していきたい。
15	自治的な活動 「生徒会・委員会・部活動・自治会など」	約93% (91)	生徒会活動を中心に自治活動が充実しつつある。ごく少数の関わりを実感できない生徒に所属感をもたせる工夫をしていきたい。
16	情報発信 「学校・学便・HP等で教育活動発信」	約93% (93)	情報発信は高い評価を得ている。今後も学校便り、学年便り、学校ホームページ、情報通信システムの有効な活用をしていく。
17	相談への対応 「生徒・保護者からの相談に適切に対応」	約92% (89)	細やかに相談に対応している。今後も生徒への働きかけと個に応じた相談に力を入れ、生徒が保護者が実感できるようにしていく。
18	学校への参加 「公開講座・行事に参加しやすい」	約91% (87)	行事等への保護者の参観は大変多い。公開日、保護者会の参加者がさらに増えるよう、さらなる工夫をしたい。
19	地域への参加 「地域行事への参加・連携」	約87% (89)	生徒・教職員の地域行事等への参加は定着してきた。レスキュー部加入割合を増やし、全生徒の積極的な参加を促していく。
20	意見の反映 「保護者の意見を受け取り、改善に努める」	約91% (91)	保護者・地域から前向きで肯定的なご意見をいただくことが多い。今後も細やかな対応をしていきたい。
21	基礎・基本の徹底 「学習・生活習慣・態度の徹底」	約89% (89)	全校学習コンテストなどの取り組みが一定の評価を得ている。今後はさらなる基礎基本の定着を進められるよう工夫をしていく。
22	授業評価の活用 「授業評価の結果を改善に活用」	約90% (86)	多くの生徒が授業改善に反映されていると感じている。保護者には伝わりにくい面があるようだ。形として示す工夫をしたい。
23	進路指導の充実 「進路指導の充実・個別指導」	約89% (89)	各学年のキャリア教育が定着しつつある。進学指導に偏ることなく、3年間の計画的な進路指導を実践し、さらに充実させたい。
24	地域学習 「地域・社会・自然を学ぶ」	約91% (90)	地域学習が定着し、生徒・保護者の意識も高い。3年間を見通した計画も確立しており、今後さらに内容を充実させたい。
25	JRC活動 「ボランティア活動・社会貢献活動」	約92% (88)	JRC活動に対する意識が高まってきている。ボランティア活動等も充実してきている。レスキュー部の活動も効果を上げている。

ほぼ全項目において、肯定%が90%前後、それ以上と、高い評価を受けた。

今年度ご協力をいただきました学校関係者評価のまとめを掲載させていただきました。肯定%とは、生徒・保護者・教職員の「良くあてはまる」「だいたいあてはまる」の合計です。詳しいデータ等は本校ホームページにて公開していますので是非ご覧ください。